

9月例会は、当会会員で労働基準監督署長のご経験がある佐光先生に登壇いただきます。
テーマは、「社会教育における言語化の重要性について」です。6月11日付、日本経済新聞朝刊の私見卓見に「若手の離職は翻訳不足が原因」という佐光先生の見解が掲載されましたので、ご覧になられた方もおられるかもしれません。今回は職場において、上司・部下ともに自身の考えを「言語化する力」を身につけることの重要性を余すことなくお話しいたします。私たち社労士にも必要な力です。ぜひ奮ってご参加ください。

社員教育における言語化の重要性について



さこう かずお
講師 **佐光 和夫 氏** (当会会員)

社会保険労務士 労働衛生コンサルタント
ハラスメント防止コンサルタント 第1種衛生管理者

【講師プロフィール】

昭和37年7月 大阪府豊中市出身
昭和61年3月 龍谷大学法学部法律学科卒業
昭和61年4月 労働基準監督官として労働省採用
栃木、新潟、大阪、福井の各労働基準監督署等で勤務
監督署：方面主任監督官、労働基準監督署長(大阪・福井)等歴任
労働局：労働衛生専門官、主任安全専門官、健康課長 等歴任
令和5年3月 定年により厚生労働省(福井労働基準監督署長)を退職
令和5年6月 社会保険労務士登録

【講座概要】

事務系、現業系に関わらず新規採用者に対する業務指導では指導する側が曖昧な表現や仕事の流れを意識した教育指導ができないことがあります。この場合、両者の間でのミスマッチ（教え方が悪い、理解力が不足しているなど当事者の心理）により新規採用者が戸惑ったり、思ったような成長が望めないとの理由で早期退職につながります。新規採用者の定着に困難をきたしていることについて、ベテラン従業員が暗黙知としていることについて言語化することの重要性や言語化のための取り組みについて、ご説明します。

日 時 2026年9月17日(木) 18:30～20:15

会 場 大阪府社会保険労務士会館 3階大会議室(Zoom併用)

参加費 前期会費(R8.4月～9月:5,000円)以外の負担はありません。

申 込 9月10日(木)までに「調整さん」で例会の出欠と参加方法を入力してください。

調整さんのURLから ⇒ 会場出席○・Zoom出席△・欠席×を選択

ZoomのURLは、9月16日(水)までにメールで送信します。

会場出席と入力後、個々の事情により、当日Zoom参加に変更しても構いません。

※締切日までに入力がない場合は欠席として取り扱いますが、極力入力をお願いします。

備 考 例会後、会員有志による懇親会があるかもしれません。参加ご希望の方は、例会終了後、会場に残ってください。懇親会の費用は、参加者の均等割りです。領収書はお渡しします。

【お問い合わせ】メール: info@ningenroshi.org / 電話: 070-6500-0426 (代表幹事 香山 晃子)